



No 2757

2015-2016年度

会長 中元耕一郎

幹事 上野山栄作

R広報委員長 児島 良宗

有田

担当：橋本R広報委員

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日

ホームページ
<http://www.1a.biglobe.ne.jp/aridarc/>
 e-mail aridarc@kdt.biglobe.ne.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

テ
R
I
マ
マ



世界へのプレゼントになろう
 Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

テ
R
I
マ
マ



奉仕の理想車を走らせよう!!
 Let's drive your ideal car of the service!!

次回のお知らせ

平成27年11月12日 第2759回

- ・会員卓話：児島 良宗 君
「おもてなしの心」
- ・ソング：「我らの生業」

本日のプログラム

平成27年11月5日 第2758回

- ・会員卓話：嶋田 崇 君
「私の国際奉仕」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告（第2757例会）

開催日 平成27年10月29日(木)

点 鐘 (中元会長)

会長の時間 (中元会長)

日本全国のお祭りの数は10万とも20万とも言われ、古くから現在まで祭りは人々に欠かせないものとして続けられてきました。



日本の歴史の中で、一番初めに行われた祭りは何だったのか、皆さんはご存じでしょうか。日本神話の中には古来の祭りの形を彷彿とさせる描写が存在します。それは天照大御神と須佐之男命、そしてアメノウズメら神々による有名な「岩戸隠れ」のエピソードです。このエピソードの中で神々がアマテラスに岩戸から出てきてもらうために行った宴は、人間が神様をもてなすためにする祭りの形式そのものです。また、アメノウズメの踊りは神様を呼ぶための踊り、神楽の原点でもあります。そういった意味からこの神話が日本の祭りの最初のもっとされています。

日本の四季と祭りは密接に関わっています。春は稲を植える季節で、祭りの代表としては「お田植え祭り」が全国的に広がっており、これと対になっている秋祭りには稲刈りの時期に行う「新嘗祭」があります。米が無事に収穫できたことを神様に感謝する行事です。また昔、夏にはよく疫病が流行し、神の祟りと恐れられていました。そのため夏の祭りに

は疫病退散を目的としたものが多く、代表的なものが京都の「祇園祭」、大阪の「天神祭」です。お盆には、亡くなった人の霊や先祖の霊をあゝの世から呼び寄せ、その霊を祀る行事が各地で行われます。盆踊りや、火送りなどがそれであります。また、害虫の被害や台風、洪水も多い夏は、これらを追い払うための祭りもあります。虫送りのための青森県の「ねぶた祭り」、台風除けのためには富山県の「越中おわら風の盆」が有名です。農閑期である冬は、厳しい寒さに耐えながら魂を充実させる季節であり、穢れを落とす禊（みそぎ）としての裸祭りや、炎が主役の火祭りが行われます。当クラブの岩本会員が宮司をされている箕嶋神社は、夏祭り、秋祭りはもちろん、海上、漁業、商売繁盛の神を祀る戎祭りのゑびす神社としても知られています。

一年を通じて行われる祭りには、祈り・感謝・願いなど日本人の生きるための想いが集約されています。祭りの掛け声の「ワッショイ」には「和を背負う」という意味がこめられているそうです。

さて、「お祭り男」という言葉がありますが、いろいろな困難を乗り越え、進んで場を盛り上げ、周囲を楽しませるといふ人をそう呼ぶとすれば、お祭り男も楽しいかもしれません。皆さん、ロータリーのお祭り男になってみようではありませんか！

幹事報告 (上野山(栄)幹事)

1. 国際ロータリー日本事務局経理室より2015年11月のロータリーレート 1ドル=120円
2. 2640地区辻ガバナーより2015-2016年度の地区出向の役員変更書が届く。上野山英樹会員が副代表幹事からガバナー補佐に変更されました。

3. 10月2日に行われたIM2組の会長会議の議事録が届いています。2016-2017年度のガバナー補佐の推薦者に御坊南RCの柿木宏光君が選ばれました。
 4. the rotarian 回覧
 5. 有田タイムス10月24日に社会青少年のさくらんぼの事業が掲載されています(後方掲示)
 6. 例会変更 (後方掲示)
 7. 3クラブ合同ガバナー公式訪問 合同例会 (11月19日 15:00~19:00) 出席の確認をできるだけ早くお願いします。
 8. 箕嶋神社の駐車場について、契約車表示のあるところには停めないようにお願いします。
 9. 10月22日の第1回臨時理事会報告
- <報告事項>
- ・クラブ会長会議 (10/10) 中元会長より報告 (①地区テーマ:超我の奉仕 ②PETS・地区協議会無し ③地区決議会有り:10/31 ④ガバナー公式訪問有り)
- <協議事項>
- ①地区決議会 (10/31) について【承認】
信任状の件について、中元会長を選挙人として選出する。
地区賦課金及び予算案の件について【承認】
 - ②有田3クラブ合同ガバナー公式訪問及び合同例会について【承認】
場所:橋家、日時:平成27年11月19日(木)PM3:00~PM3:45 ガバナーアドレス、PM4:00~PM5:30 ワークショップ(テーブル・ディスカッション)、PM5:30~PM7:00 懇親会
 - ③米山カウンセラー再任の件について【承認】
橋爪誠治カウンセラーが継続する。
 - ④新入会員メンターの件について【承認】
井上新会員のメンターが上野山英樹会員に決まる。成戸新会員、嶋田新会員のメンターが成川守彦会員に決まる。
 - ⑤会員推薦届様式修正の件について次回の11月理事会に再度提出する。(次回までに、役員・理事には修正点等を確認してもらう)
 - ⑥来週は新入会員入会式です。皆様宜しくお願いします。

委員会報告

- *親睦活動委員会(橋爪(誠)委員長)
10/25(日)家族旅行ご参加の皆様ありがとうございました。
本日の例会終了後、親睦活動委員会を開催します。ご出席よろしくお祈いします。
- *R財団委員会(橋爪(正)委員長)
岩本さん、橋爪(正)より特別寄付がありましたので報告させていただきます。

出席報告 (應地例会運営委員長)

本日の会員数27名
(出席規定免除会員9名)
出席会員数19名
(出席規定免除会員6名)
82.61%
10/15 91.67%
MU:酒井君、岩本君

ニコニコ箱の報告 (中村SAA)

中元君:親睦委員会の皆さん、家族旅行では大変お世話になりました。ありがとうございました。本日の前期IDMの発表、よろしくお祈いいたします。

上野山(栄)君:先日の親睦旅行、親睦活動委員会の皆様ありがとうございました。ライオンキングで号泣してしまいました。本日、IDMの各リーダーさん、発表よろしくお祈いします。

上野山(捷)君:第1班リーダーの嶋田さん、IDMの発表ご苦労様です。欠席で申し訳ありません。

橋爪(誠)君:IDMのリーダー様、本日の発表ご苦労様です。先週日曜日の親睦家族旅行、無事に行って帰ってこれました。ご協力頂いた皆様本当にありがとうございました。

児島君:酒井君、IDM2組の発表、よろしく。

嶋田(崇)君:IDM1班の報告をさせていただきます。宜しくお願いします。

脇村君:IDMの両リーダーさん、発表よろしくお祈いします。

石垣君:先日の親睦家族旅行で大変御世話になりました。IDM酒井リーダー様、本日発表よろしくお祈いします。

酒井君:先日の家族親睦旅行、お世話になりました。ライオンキングも感動しました。人生初めてのミュージカル観賞でした。

橋本君:嶋田さん、酒井さん、IDMの発表をよろしくお祈いします。

岩橋君:家族旅行を欠席して親睦委員会には迷惑をかけました。すみません。

岩本君:嶋田さん、酒井さん、本日は御報告御苦労様です。成戸様、先日はお世話になりました。

松村君:親睦活動委員会のみな様、家族旅行でお世話になりました。嶋田様、酒井様、IDMの発表よろしくお祈いします。

橋爪(正)君:嶋田崇君、酒井隆正君、IDMのリーダー、ご苦労さまでした。本日の発表もよろしく。そして、橋家の方でちょっと良いことがありました。

井上君:ライオンキング楽しかったです。チャンピクス服用始めました。

中村君:家族旅行では親睦委員会の皆様、御苦労様でした。

前期 | IDMの発表

前期IDM テーマ

「クラブ会員がロータリーについて理解を深めるためには、どのような方法が有効でしょうか？」

「有田ロータリークラブが理想とするクラブ像に近づくためにはどのようにすれば良いでしょうか？」

第1班

第1班リーダー
嶋田 崇 君



- *開催日：2015年10月20日(火)
- *場 所：橘 家
- *時 間：18時30分～
- *出席者：嶋田崇(リーダー)、上野山捷身(サブリーダー)
橋爪正芳(情報研修委員会)、岩橋行伸
宮井清明、成川守彦、脇村重徳、松村秀一
橋爪誠治、上野山栄作、橋本拓也
加藤英治、井上修平 (以上13名)

*内 容

最初に情報研修委員長の橋爪正芳さんからテーマに関する主旨説明があった。

それぞれの意見を下記に集約した。

- ・当クラブは地区内ではロータリーとして相当高いレベルにあると思っているし、その様な評価をもらっているはずである。これは決して驕りではない。会員に対する教育が積極的に行われていないと主旨にあったが、例年2回のIDMや当クラブ独自のプログラムであるロータリーカレッジを年1回開催して勉強の機会を作っている。中元会長は入会5年目で会長になられ、その他入会間もない会員も短期間でクラブ幹部に昇進している現在、ロータリーに関する知識を取得する機会の少なさに欲求不満が生じて来ているのもやむを得ないのではないかと。いって皆が会する公式な勉強の機会をこれ以上増やす必要はないと考える。あるとすればIM2組の復活に期待したい。
- ・書物を読むことや、例会・行事に参加することで様々なことが学べる。
- ・有田ロータリークラブ定款、細則、内規あるいは手

続き要覧を読むとロータリークラブがどのように運営されるのか分かる。ただ、これらの書物は手強いのが難点である。

- ・例会に出席したり行事に参加することや、ロータリーの友を読むことでさらにロータリーへの理解が深まり、ロータリークラブの基本的な精神や本質を学べると思う。
- ・One profits most who serves best. の中のprofitsには①経済的な豊かさだけでなく②心の豊かさも含まれる。奉仕により②を高めることで人生が豊かになるという考え方をロータリーから教えて頂いた。
- ・地区のことが分からない。
- ・地区に出向すると他クラブの人に接することができて大変勉強になる。
- ・無理をしないで徐々にやって行くのも大切ではないか？
- ・今までは時間的に余裕があった。出席しているうちに勉強が出来て、各委員長や役職につけば、自分でも勉強をしなければならないと思うし、人に教えてもらうことで自然に勉強が出来たようである。でも、今は時代も事情も違うし、会員数が少なくなった。会員数の多かった昔は、入会から会長になるまでは平均15年以上かかった。→会員増強が必要不可欠である。
- ・新会員に対する教えを誰がするのか？入会推薦者はそれなりに責任を持って指導に当たることも大切ではないか。
- ・例会が済むと用の無い人は直ぐに帰るが、気軽に参加できる茶話会を月1回ぐらい経済クラブで開催したらどうか？そんな中からロータリーについて学ぶこともできると思う。
- ・クラブの魅力のバロメーターは出席率である。
- ・ロータリーの一人として見られているので、地域社会では言動に注意しなければならない。
- ・会長の時間では、ロータリーの話をよくする。
- ・平成16年の生馬年度の時のIDMテーマで「魅力あるクラブとは…10年後の夢」を話し合っている。その当時の会員数は42名で今と違って4班に分かれて開催していた。まとめた印刷物を脇村さんと上野山捷身さんが持っていますので、興味のある方はお尋ね下さい。
- ・他クラブに出席すると勉強になる。

第2班

第2班リーダー
酒井 隆正 君



- *開催日：2015年10月22日(火)
- *場所：橘家
- *時間：18時30分～
- *出席者：酒井隆正(リーダー)、石垣洋介(サブリーダー)
 應地正章(情報研修委員会)
 児島良宗(情報研修委員会)、中村吉伸
 中元耕一郎、岩本道弘、成戸文子
 (以上8名)

た。

閉会・点鐘 (中元会長)

<テーマ1>

ロータリーは人数も減少しており会長や幹事を拝命する期間がどんどんと短くなってきている。これに備えて今後どのように教育、もしくは勉強するかということについてまず個人が意見を順番に述べて意見交換を行いました。

各会員からは、ロータリーは人生道場であり卒業のないものゆえに、あせらずじっくりと学んでいくことができればいいのではということが多くあげられました。また入会するにあたってはしっかりとレクチャーを受けた会員もいれば昼飯を食べに来ればいいんだよくらいの説明を受けた会員もおりバラバラでした。しかしながら例会に出席しながらじっくりと他の会員と交流をし、自然に学ぶということが極めて大事ということを共有化しました。

一方で勉強という観点からは<クラブ定款細則>これに勝る身近なものはないので、まずはこれを各自理解する必要があるという意見も出されました。

教えるという観点からは、昔は大先輩がよく教育やレクチャーをしてきていた。例えば元ガバナーなどがよく実施してくれていたように思う。今は地区が混乱しているせいもあるが、もっともっと先輩が教えていかないと駄目であるという意見が皆の共感をえました。

何事も型にはまらず長い目でみながら焦らず人生を磨くことが大事であるという結論で終了しました。

<テーマ2>

理想とするロータリー組織にするためにはどうすればよいかという点について、アンケートをもとにテーマ1同様に各自意見を出し合いながら意見交換を実施しました。

まず、理想とするクラブの究極の形は出席率100%ではないだろうかという意見に多くの会員が共感しました。理想と現実という観点から少人数でも盛り上げていければいいが、現実には会員数を拡大しないと組織として魅力的な活動が出来ない。会員を増やすにおいてもロータリーは外部の方からどう見られているか?現在の会員の子弟はなぜ入会しないのか?などについて問題提起や意見が出されました。

結局は冒頭の出席率100%となるには各自が当たり前のように出席したくなるクラブということが重要であり、そのためにはあまりに過剰でない適度な親睦も大事という意見に賛同しつつ終了しまし

日程	11月の例会プログラム
11/5(木)	会員卓話 嶋田 崇 君 「私の国際奉仕」
11/12(木)	会員卓話 児島 良宗 君 「おもてなしの心」
11/19(木)	有田3クラブ合同公式訪問 合同例会 於) 橘家 午後3時～ 辻秀和ガバナーアドレス ※午後4時～ワークショップ ※午後5時半～懇親会
11/26(木)	外部卓話 野田 ちよみ 氏 「子どもと共に歩むさくらんぼ」

～過ぎし時に敬意を表わして～
ポールハリス語録

今日の年間予算は膨大のようにみえるかもしれませんが、アメリカだけでなく全世界の多数のロータリアンが、何の見返りも求めず、ロータリーのために最大の努力を尽くしているのではありません。より良い世界という大きな希望を持たせてくれる運動を推進しているという満足感だけで、ロータリアンたちは報われる思いをしているのです。

(ロータリーへの私の道より)

Though the annual budget of today may seem large, it is nothing compared to what it would necessarily be were not for the fact that thousands of Rotarians, not alone in America, but throughout the world, are giving their best efforts in the interest of the movement without any compensation other than the satisfaction they find in advancing a movement which to them holds great hope for a better world, a neighborly world.

(関場慶博RI第2830地区PDG提供資料より)